

press release

2013年3月7日

(本資料は、2013年3月5日にロンドンで発表されたプレスリリースの参考訳です。)

スタンダードチャータード PLC 2012 年度決算 営業収益・税引き前利益・配当共に増加

顧客重視戦略と業務の多様化が力強い業績を後押し

2012 年度業績ハイライト:

- 営業収益は前年比 8%増加、190 億 7 千万米ドルを計上
- ホールセールバンキング部門の営業収益は 9%増加、117 億 8 千万米ドルを計上
- コンシューマーバンキング部門の営業収益は 6%増加、72 億米ドルを計上
- 事業展開する 26 市場で 1 億米ドル超の営業収益、25 市場で最低でも 10%の収益成長率を達成
- 流動性の非常に高いバランスシートと、コア Tier1 資本比率 11.7%の優れた資本力
- 自己資本利益率は 12.8%、年間配当率は 10.5%と、引き続き株主の期待に応える
- 好調な業績の勢いは 2013 年度も持続

スタンダードチャータードPLC(本社:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ)は、3月5日付で、2012年度の営業収益・税引き前利益・配当が共に10年連続の増加となったことを発表しました。世界で最もダイナミックな市場で事業を展開する当行グループは、26市場で1億米ドル超の営業収益を達成しました。その結果、当行グループの営業収益は、前年比8%増の総額190億7千万米ドルに達しました。

当行グループは、進出先の各市場で見られる貿易の増加に合わせて、グループのネットワークをさらに効率的に活用することで、営業収益の一層の拡大を図っています。2012年度におけるホールセールバンキング部門の顧客収入の50%以上が、顧客の自国外での取引から発生しました。同様に、コンシューマーバンキング部門も、進出先の経済発展を反映した中間所得層の急速な増加の恩恵を受けています。

2012 年度の業績について、当行グループ会長ジョン・ピースは、次のように述べています。

「当行グループが、2012 年度に営業収益と税引き前利益の双方で、10 年連続最高益を実現したことをご報告できることを光栄に思います。当行グループの成長ストーリーは続いています。熟知した各市場において、優れた銀行業の基本原則を重視する戦略を忠実に推進し、顧客の皆様との緊密な関係構築の発展に努めてまいります。ホールセールバンキングとコンシューマーバンキングの両部門における好調な業績の勢いは、2013 年に入っても持続しています。当行グループ取締役会は、2013 年度の業績についても自信を持っています。」

ホールセールバンキング部門とコンシューマーバンキング部門の双方が、数多くの市場で業績を伸ばしました。アフリカと中国での業績は、特に好調に推移しました。当行グループの中国関連事業と、アフリカでのホールセールバンキング事業の営業収益は、それぞれ初めて年間 10 億米ドルに達しました。香港・インドネシア・マレーシア、そして米州・欧州(英国を含む)地域では、それぞれ営業収益が 10%またはそれ以上の伸びを記録しました。

総費用は 10%の増加となりましたが、特別要因を除いた費用は 2%増でした。行員数は 2012 年度に約 2 千 2 百人増え、現時点では全世界で 8 万 9 千人となっています。費用抑制の手綱を緩めることはありませんが、将来の成長を確かなものとするために、必要とされる支店の新規開設とテクノロジーなどのインフラ拡充投資には引き続き注力しています。

特別要因を除外した 1 株当たり利益 (EPS) は 14%増、1 株当たり配当額は 10.5%増、自己資本利益率 (ROE) は 12.8%増をそれぞれ記録しました。当行グループはこのように、株主の皆様へ長期的な価値をお届けし続けています。

当行グループは、盤石なバランスシートを維持しつつ、銀行業務の基本原則を引き続き重視して、顧客取引の拡大に努めてまいります。2012 年度の顧客預金残高と顧客貸付金は、それぞれ 10%と 6%の増加となりました。当行グループのバランスシートは健全で、引き続き流動性の高いものとなっており、自己資本比率も高く、資金調達需要が預金で十分に満たされている状況は変わりません。コア Tier 1 資本比率は 11.7%と、バーゼル銀行監督委員会が合意した、銀行に対する自己資本比率規制「バーゼル III」をクリアした水準が維持されています。

リスク管理については、当行グループは厳しくかつ積極的な取り組みを維持しています。当行グループ全体のクレジットコストは 34%の増加となりましたが、これは当初予想の範囲でした。繰り返しになりますが、当行グループは厳しくかつ積極的なリスク管理を徹底しており、融資ポートフォリオは引き続き保守的で、多様性に富んだものとなっています。コンシューマーバンキング部門のポートフォリオの 80%強は、全額または一部が担保付きです。ホールセールバンキング部門でも、地域及びセクター別の多様化に努めています。

域内貿易と当行ネットワーク内の投資の力強い伸び

当行グループは、トレードファイナンスにおいて世界を代表する銀行の一つで、世界貿易量に占めるシェアは 5%を誇ります。当行グループが、そうした優位なポジションを生かしていることは言うまでもありません。トレードファイナンス事業による営業収益の伸びは高く、前年比 22%増でほぼ 20 億米ドルに達しました。高い伸びの背景には、トレードファイナンスの 1 件当たりの平均扱い高が 10%拡大したことと、マージンが 12 ベーシスポイント上昇したことがありました。

当行グループが誇る国際ネットワークの多様性は、競争上の差別化の源泉です。顧客のクロスボーダー取引ニーズに応えるために、ネットワークの拡充を続けています。最近の例では、モンゴル人民共和国とミャンマーにそれぞれ駐在員事務所を開設したほか、トルコではホールセールバンキング免許を取得しました。

世界には急成長を続ける市場が数多く存在しますが、当行グループは、それらの市場において好調な事業展開を続けています。当行グループは、2012 年度には 26 市場でそれぞれ 1 億米ドル超の営業収益を計上しました。また、25 市場の営業収益伸び率は 10%ないしそれ以上を記録しました。

当行グループの東南アジア諸国連合 (ASEAN) 域内における業務は、益々多様化しています。各加盟国において、当行グループは国内市場の成長と共に、域内貿易・域内投資の拡大の恩恵を受けています。世界との取引を拡大させている ASEAN では、域内市場統合の流れも加速中です。

大中華圏 (中国・香港・台湾) における当行グループの存在感が、著しく増えています。大中華圏での当行グループの 2012 年度営業収益は、3 市場を合わせて前年比 11%増の 49 億米ドルに達しました。これは、グループ全体の 2012 年度営業収益の、ほぼ 4 分の 1 を占める規模でした。香港での業績は引き続き好調で、10%増の 33 億 5 千万米ドルを計上しましたが、それに貢献したのは、中国人民元のオフショア取引自由化でした。香港は貿易と投資の両面において、大中華圏市場と世界を双方向で繋ぐハブとして、重要な役割を果たしています。中国本土は現在、当行グループの営業収益の最大の源になっています。大中華圏市場の成長と一体化が続く中で、当行グループは同地域内の貿易と投資の拡大による恩恵を受けています。当行グループは現在、中国本土内 25 都市に 100 の支店・営業所を展開していますが、引き続き拠点の新規開設投資を行ってまいります。

アフリカでの営業収益は、15%増の 15 億 9 千万米ドルでした。同地域で営業収益が 2 桁成長を記録した市場は、ケニア(前年比 34%増)、南アフリカ(28%)、ガーナ(20%)、ザンビア(19%)、ナイジェリア(13%)を含む 10 市場に達しました。

米州・欧州(英国を含む)地域の業績も極めて好調で、2012 年度営業収益は 30%増の 23 億米ドルでした。トレードファイナンスとコマーシャルバンキングにおける当行グループの競争優位が、顧客獲得に貢献しています。当行グループは、アジア・アフリカ・中東地域と顧客を繋ぐ架け橋の役割を、積極的に担っています。

好調な業績が続くホールセールバンキング部門

当行グループの顧客重視の戦略は、ホールセールバンキング部門の 2012 年度営業収益を前年比で 8% 伸ばしました。同部門にとっては 10 年連続の営業収益増となりました。

グループ全体の顧客収益の 54%を創出するコマーシャルバンキング事業は、当行グループが事業を展開する市場における貿易と投資の双方向の流れの拡大を反映して、力強い成長を達成しました。

グローバルマーケットの営業収益は、プリンシパルファイナンス事業とコーポレートファイナンス事業の双方における業績がそれぞれ 75%と 19%も伸びたことから、前年比 7%の増加となりました。

コンシューマーバンキング部門は底堅い成長を達成

コンシューマーバンキング部門の業務見直し計画は順調な進展を見せており、2012 年度営業収益は 6%増の 72 億米ドル、税引き前利益は 8%増の 17 億 8 千万米ドルを計上しました。

預金事業の営業収益は 11%の増加となりました。クレジットカード事業と個人向け融資事業は、残高が 17%という高い伸びを示したことから、営業収益が 12%の増加を計上しました。収益の伸びが全ての主要市場で見られたほか、特に香港とシンガポールにおいて、市場シェアを着実に伸ばしました。

中小企業顧客やプライベートバンキング顧客を含む、高付加価値セグメント事業の営業収益の増加率は 8%で、その規模はコンシューマーバンキング部門の営業収益の 46%を占め、同部門の収益伸び率への寄与度は 57%でした。中小企業顧客向け事業の営業収益伸び率は 5%でした。2012 年度に約 4 千人の新規顧客を獲得したプライベートバンキング事業の営業収益は、12%の増加となりました。当行グループの預かり資産の運用総額は現在 540 億米ドルで、2012 年度の増加額は 60 億米ドルでした。

詳細につきましては、下記担当者までご連絡ください。

Jon Tracey, Head of Media Relations
jonathan.tracey@sc.com

(w) +44 20 7885 7613
(m) +44 7730 051846

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

財務実績ハイライト

グループ (単位:百万米ドル)	2012 年度	2011 年度	増減(%)
営業収益	19,071	17,637	8
費用	10,896	9,917	10
クレジットコスト	1,221	908	34
税引き前利益	6,876	6,775	1
ホールセールバンキング			
営業収益	11,779	10,846	9
税引き前利益	5,136	5,216	(2)
コンシューマーバンキング			
営業収益	7,202	6,791	6
税引き前利益	1,778	1,650	8

市場別税引き前利益

市場 (単位:百万米ドル)	2012 年度	2011 年度	増減(%)
香港	1,660	1,551	7
シンガポール	966	1,002	(4)
韓国	514	172	199
その他アジア太平洋諸国	1,242	1,415	(12)
インド	676	804	(16)
中東・南アジア	786	834	(6)
アフリカ	771	628	23
米州・欧州(英国を含む)	261	369	(29)
合計	6,876	6,775	1

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場-アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界68か国で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢89,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で133年目を迎えます。アジア・アフリカ・中東地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) www.standardchartered.com

スタンダードチャータードグループfacebook(英語) www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループTwitterアカウント @StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語) www.standardchartered.co.jp/en/index.html